A dark, moody photograph of a desk. In the upper left, a lamp with a glowing globe is partially visible. On the desk, there are two framed photographs: a rectangular one of a man with a mustache and a dark suit, and an oval one of a baby. A pair of round glasses lies on the right side of the desk. In the foreground, an open notebook is open to a page with handwritten text in cursive. A black pen with gold accents lies on the right page of the notebook.

The Four-Way Test
of the things we think, say or do

- 1. Is it the truth?*
- 2. Is it fair to all concerned?*
- 3. Will it build goodwill and better friendships?*
- 4. Will it be beneficial*

特集 職業奉仕とは

10月は職業奉仕月間です。「職業奉仕」について、さまざまな立場のロータリアンの、さまざまな意見をうかがいました。

倫理は身に付いていますか？

よく働き、よく遊び、よく眠る



「四つのテスト」が考案されたのは、75年前のことです。このテストが現在の社会でも、適用されているかどうか、著名な倫理学者のH. ウッズ・ボウマン博士とトム・ホーイマン博士に『THE ROTARIAN』編集者のジェニス・チェンバースが聞きました。

なぜ近年、このように倫理が渴望されているのですか？

ホーイマン そうなのですか？ エンロンや政治家の不祥事のようなろくでもない事件が起こると、倫理が前面に取り上げられます。しかし、今日、倫

理とって語られているものの多くは、本来、倫理とっているものではなく、法令遵守する必要最低限のことにすぎません。倫理は法律の礎ですからね。人間には、自己宣伝したり、私利私欲に走ったりする傾向があります。もし、何か物を持ち逃げしてもよいとしたら、私たちはそうするでしょう。ロータリーのような組織が、私たちの倫理基準を高めてくれるのです。

ボウマン 基本的に人は（結果的に良いことをしなかったとしても）、良いことをしたいと思うものだと私は考えています。ときどき、良いことと悪いことの区別さえつかない人もいますが。私は、ある男性から手紙をもらいました。本来なら1ガロン3ドルであるはずのガソリンを、あるガソリンスタンドが1ガロン30セントで売っていることに気づいた彼は、自分の車を満タンにして、さらに友達みんなにも満タンにさせます。そしてそのときになって初めて、もしかして自分は悪いことをしたかもしれない、と考えます。しかし、自分に都合の良い言い訳を考え、ほかの考えなど思いもつかなかった、とその手紙にありました。こ

のようなことは、本当によくあることです。私たちが行うべき正しいことと相反します。長期的に物事を考えなかったときに、後で後悔するような判断をしてしまうことがよくあります。

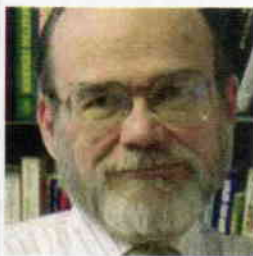
今の人たちは、1世代、2世代前と比べて倫理的にどうですか？

ホーイマン どの世代もその世代なりの倫理的な課題に直面しています。私たちは、アメリカ合衆国建国の父たちを思い起こし、なんと倫理的な人たちだったのだろうと、推論することができます。この国を建国するための彼らの任務への自己犠牲と献身、そして誇りは、計り知れないものがあります。しかし、トーマス・ジェファーソンは独立宣言を起草する一方で、彼自身が奴隷を抱えていたのです。私たちは奴隷を使っていませんが、だからといってジェファーソンの時代より私たちが方が倫理的だといえるのでしょうか？

現在もなお、もつ者ともたざる者の経済格差が広がっています。どちらが倫理的なのかは一概にはいえません。

ボウマン 私は、こういったことは行きつ戻りつするものだと思います。人はいつか死ぬものです。近い将来、倫理的な社会が成就するのか、悪くなっていくのか、私にはわかりません。私が経済学者だからかもしれませんが、ビジネスのサイクルを見いだそうとしてしまいます。私は、詐欺師のような人たちというのは、好景気のときにどこからともなく現れてくるような印象をもっています。景気がいいときは、過ちや不正行為を簡単に包み隠すことができるのです。そしてそのサイクルが変わったときに、それらの悪事が発覚するのです。その後、私たちは不祥事の一連の流れを新聞で知ります。ものがまさに急降下していくようなものです。長期的な分析をしないで、短期的傾向からものごとを総括するのは、私は間違いだと思っています。もう一度いいますが、これらは繰り返される

H. ウッズ・ボウマン博士



元イリノイ州選出の下院議員で、シカゴにあるデポール大学でパブリックサービスマネ

ジメントの准教授。

トム・ホーイマン博士



アメリカ・コロラド州デンバー・チェリークreek RC直前会長。レジス大学で准教授。

アメリカ疾病対策センターの倫理小委員会会で「よく働き、よく遊び、よく眠る」をモットーに活動中。

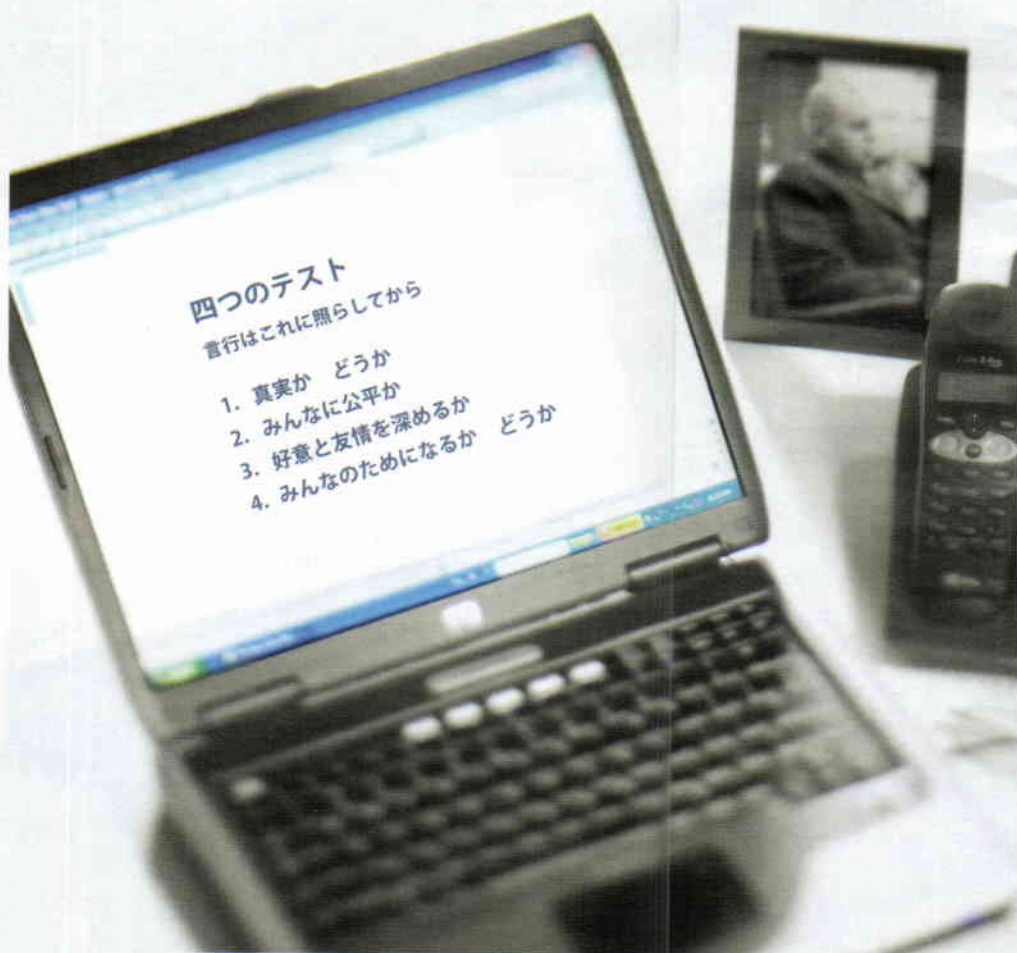


THE FOUR-WAY TEST

of the things we think, say or do

1. Is it the truth?
2. Is it fair to all concerned?
3. Will it build goodwill and better friendships?
4. Will it be beneficial to all concerned?

ROYAL



と思うのです。ですから、倫理学者は、今後も仕事に事欠かないでしょうね（笑い）。

私たちの現在は上昇局面ですか？

下降局面ですか？

ボウマン 実際、私たちの状況は現在、改善されつつあると思います。私のビジネスサークル理論に基づけば、の話ですが、この2～3年、私たちの倫理レベルは底辺にありました。支持できる水準に戻りつつあるように思えます。もしあなたが実行すれば、より正常に近づくでしょう。

つまり、あなたは若い世代が倫理観に欠けると考えてはいないのですね。

ボウマン 考えていません。まず、私は今、65歳で、私から見れば、ほとんどの人が若い世代だといえます。ある世代がほかの世代と比べ、より倫理的だということもあるかもしれませんが

が、大勢に影響があるものではありません。

あなたが直面した、最大の倫理的ジレンマは何ですか？

ボウマン 人を解雇するという決断をしたことです。私は恐らく、解雇するのを長い間後回しにしてきたのだと思いますが、彼らを継続して雇うことは、私が勤務する組織に弊害を与えるという結論に至り、解雇したのです。苦痛以外の何ものでもありませんでした。

自分の行動が本当に倫理にかなっているというのはどうやってわかりますか？

ホーイマン まずは、感情によるチェックです。気持ちが落ち着かない、眠れないといった症状は、何か不都合があるというサインです。倫理とは、自分というアイデンティティと行動との間に一貫性があることを意味して

いるのです。

どのようにして多くの人は倫理に反した決断を下してしまうのでしょうか？ 気を付ける点は何ですか？

ボウマン 自分の利害を考えなければ、たいていの人は正しい答えを導き出すことができます。しかし、集団になるとおかしいことが起こります。集団の中の考え方にとらわれてしまい、客観性を失ってしまいやすくなるのです。学生のグループを看守と囚人に分け、全面的な権力を看守の側に与えると、看守は囚人たちを虐待するようになるという、典型的な実験があります。私だったらそんなことはしない、と多くの人はいいます。私は彼らに話します。あなたはしないかもしれないが、残念ながら、かなりの人

がそうするのですよ、と。私は、客観性を失いかけたときに、日々の生活の中での兆候に気づくことを期待しています。それが一夜にして失われるというわけではありませんから。

ロータリークラブはどのようにして客観性を維持させる手伝いができますか？

ボウマン 集団の中での相互作用から生じた偏った考え方（例えばリーダーのようなその集団の誰かによってもたらされたものかもしれませんが）が、客観性を欠いた判断を招き、そのことについて指摘しようとする人が誰もいないため、一つの客観性を欠いた判断が別の誤った判断を導き、混乱をきたすようになるまで次から次へと繰り返されるという状況は実にたくさんあります。人は、多くの異なったグループに所属することが大切だと思います。特に、奉仕や倫理を主眼に置くような

グループに所属することです。そのようなグループは客観性を保つのに役に立つからです。言い換えれば、もしあるグループのみんなからあなたは狂っている、倫理的すぎる、などといわれても、ロータリークラブの例会へ行けば、ロータリアンの仲間たちは、いうでしょう。「あなたは、狂っていません、正しいのです。頑張ってください」と。

今日非営利団体が倫理面で直面している最大のジレンマは何ですか？

ボウマン 一番大きな問題は、はるか昔からある、利害関係の衝突です。人々は、個人的な利害関係が絡むと客観性を失います。そういうときに誤った判断をしてしまうのです。また税金逃れのために立ち上げられた非営利団体も存在します。約5年前からアメリカ国税局は、中間的制裁制度を導入しました。基本的にその法律は、巨額のお金を儲ける人に対し罰金を科するもので、制裁を与えられたのは約40人の個人に対してだけなのに、2,000万ドルもの返金がありました。非営利組織の抱える問題の一つは、私が思うに、たくさんの公の監査の目からの隠れ養にもなり、物事が極めて悪い方へ進まない、誰も見つけることができないという点です。幸いなことに、非営利組織で働いているほとんどの人たちは、正しい行いをしていると思っていますが。

企業の場合はどうですか？

ホーイマン 倫理的な問題に関しては、いつの時代も企業と非営利団体の間に違いはありません。企業活動は、企業価値と使命に緊密な関係があります。今日、企業や非営利組織が良い行いをしたことに對しては、その組織のどのような利益につながろうとも、注目を集めるようになってきました。企業も非営利組織も、倫理的行動が、あらゆる方向での成功に結びつくということを見いだしつつあります。

利益を追求するビジネス界においては、四つのテストのような倫理的な指針をもとにして、生き残れるのでしょうか？

ボウマン もちろんです。あなたが得る尊敬といったものを価格に転嫁することはできません。

四つのテストの効果とはどのようなものですか？

ボウマン 私が倫理の規約について話すとき、すべての組織に当てはまる規約など一つもない、と話します。それぞれの組織の中で発生しそうな問題点を記してあることが、大切なことなのです。また、本当に簡潔でなければいけません。もう一つは、否定形を多く用いてはいけません。四つのテストの優れた点は、明確で、単純なので覚えやすいということです。それが基本なのです。

ホーイマン 効果はあるかもしれませんが、混乱もさせます。義務に伴う結果と、2つの相反する倫理観がまざっているのです。「みんなのためになるかどうか」という質問ですが、これは、結果に重点を置いています。「真実かどうか」という質問は、私たちは真実を話す義務があるということを前提にしています。ですから、もしこの2つの質問に肯定的にも否定的にも答えることができるとしたらどうしますか？ 私は、このテストのよい点は、それによって会話が生まれることだと思います。しかし、それだけで終わるものではありません。

「みんなに公平か」は本当に可能なことなのでしょうか？

ボウマン この質問の意味は、決断をするときに、影響を及ぼすすべての関係者のことを考慮に入れているかということです。みんなに公平であることは実行可能というだけでなく、必要不可欠なものなのです。すべての人を同時に幸せにすることができるのだろうか

か？ と懐疑的に思っているかもしれませんがね。残念ながら、不可能に近いことです。なぜならば、人の利害関係はよく衝突しますから。

職場で倫理向上のためにロータリアンができることは何ですか？

ホーイマン 一番簡単な方法は、職場とロータリーが表明しているアイデンティティーや使命宣言を同一線上のものにすることです。その組織の信条は何か、ある組織がどのような行動をとっているのか、そしてそれがどのように一貫性を保っているのかということによって調和が保てる時、あなたは倫理的な会社組織をもてるようになるでしょう。もちろん、アイデンティティーが倫理的であるかどうかによりますが。たとえば、子どもを奴隷として労働させるような組織は、本質的に倫理的ではありません。その活動が使命と合っている、その中核は腐っているのです。これは口コミで伝わった格言です。たとえを使って考えてみましょう。整備されていない車があったとします。ゆすってみるところで、その車が整備されていないことには変わりありません。同じことが組織にもいえるのです。

ボウマン 倫理的に行動することです。あなたが部下に、倫理的に行動してほしいと思っていることを示すのです。倫理を向上させ、倫理的に間違ったことを管理するために正式なシステムを発足させる機会をとらえてください。そして、あなたの会社に四つのテストを掲げてください。決して損にはなりませんよ。

『友』9月号横組み24～27ページ「四つのテスト」も併せてご覧ください。

四つのテストや倫理を重視するロータリアンの意見は、R I ホームページ www.rotary.org/newsroom に掲載しています。

それぞれの職業奉仕



必要とされる人

中之条RC 田村 義一

1997年7月入会 1960年2月14日生まれ



職業奉仕とは？ 高い倫理的規範と社会的価値をもつ企業が、日々行っている事業活動、そのすべてが職業奉仕と言えます。その企業のもつ技術・技能による社会貢献、存在による雇用環境、利益から納税、インターンシップのような青少年教育、日々の企業努力により、その職業（会社）が地域から必要とされ、消費者から選ばれるものでなければなりません。他人から存在を認められてこそ、職業奉仕が実践できます。

もし地域や消費者が遠ざかる場面があったときは、企業そのものが地域に必要とされていないか、商売のやり方が間違っていると考えられます。その場合、皆に望まれるあり方へ「シフト」しなければなりません。自己満足の中だけでは、職業奉仕を実践することはできないからです。そう考えると、社長（ロータリアン）の経営理念から職業奉仕は発信されていると言えます。

しかし、世の中には、社会や消費者が望まなくても多額の予算（税金）を資金源として、自分たちだけの価値で存在する特別な法人が多くあります。現代社会は、一つのものにしがみつかなかとも、地域や消費者が望むものは無数にあります。皆に支持される生き方をしたいと願えば、それは職業奉仕につながるはずです。いつの時代も広い見識と価値あることを実行する勇気がいちばん大切なのではないでしょうか。私自身も地域から、会社から必要とされる人間でありたいと思います。

(第2840地区 群馬県)

自分の職業に誇りをもつ

伊勢南RC 中北 喜大

1955年7月入会 1927年10月29日生まれ



このごろは、どの地方でも、各種の奉仕活動が活発に

なり、40年前にロータリークラブが行っていた程度の社会奉仕活動や国際奉仕は、これらの奉仕団体が行ってくださるようになりました。

それに対して、ロータリーがそれ以上に奉仕活動を行っているかとなると、あまり大した活動はできなくなって、わずかに評価できるのは、国際奉仕における奨学生の交換くらいではないでしょうか。

そこで、ロータリーは職業奉仕の重要性を、もっと見直されなければならぬと存じます。職業奉仕とは、自分の職業に対して誇りをもち、仕事を正しく倫理的に実行することであり、また、生活の資を得る方法を、人生を良く生きる方法に変えるものだと思います。そして私は、ロータリーの標語「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」は、職業奉仕の標語であると考えます。真面目に誠実に他のために仕事をしていれば、事業は標語の通り堅実に成長するものだと信じております。

ついでながら「超我の奉仕」はまことにすばらしい理念ではございますが、釈迦やキリストのような聖人なら別として、私たち凡人には実行できない理想であると思っております。その代わり、堅実に正当に稼ぎためたお金は、自分たちの欲望のために浪費することなく、社会の善良な人たちがより幸せになってくださるように遣いたいと心がけております。(第2630地区 三重県)

逆境を社員教育に生かす

宇部RC 大木 秀昭

2002年3月入会 1958年12月28日生まれ



家業である造園業を、先代の父に代わり、会社を営んでおります。弊社は公共事業を主として、公共性の高いさまざまな造園工事を行ってきました。近年は公共事業激減という時流を受け、かつての華々しい業績はもはや過去のものとなり、いわゆるリストラの断行も余儀なくされ、必然的に会社の規模は縮小しました。

しかし幸いなことに、一緒に働く仲間（従業員）はこの職業が本当に好きで、仕事に誠意のある者ばかりが残

りました。仕事の激減は会社にとっては大打撃でしたが、逆に私自身、別の意味で時間に余裕ができました。考えを切り替え、この余った時間を社員の教育に使うことを考えました。既にそれなりの技能を身につけた社員にも国家試験を受けさせるだけでなく、より高い技術、技能の向上を目指し、共に勉強する機会をつくることができました。

造園業は、一にも二にも技術と技能を売り物とし、完成度が求められる仕事で、その完成度が顧客に評価されます。社員一丸となり、日々の努力により、顧客にもより高い満足を与え、より良い評価をしていただけるものと信じ、今後もこの方針を貫こうと思っています。

四つのテストにある「真実かどうか」「みんなのためになるか どうか」に重点を置き、これからも日々勉強を重ねていく決意です。 (第2710地区 山口県)

健康管理が職業奉仕

高田RC 小林 元

1998年7月入会 1959年5月12日生まれ



毎年、会員向けに実施している高田ロータリークラブの職業奉仕事業に、地元医師会館での人間ドック、いわゆる健康診断と健康講演会があります。これが職業奉仕の事業かと思われるかもしれませんが、われわれは立派な職業奉仕の事業であると自負しております。

実はこの事業が実施されたのは、ある医師の会員の発案からでした。その医師の言葉を借りると次のようなことでした。

「ロータリークラブの会員のほとんどが会社のリーダーであり、そのリーダーの健康管理が会社発展のカギを握っているのである。リーダーが心身共に健康でなければ従業員にも悪影響を及ぼし、良質な労働を得ることができず会社は発展しない。リーダー自ら健康づくりを推進することで、従業員にも健康管理の重要性を喚起でき、会社自身も健康な状態、つまり活性化していく」

このことを医師という職業人として率先して職業奉仕活動に取り入れたことは称賛に値します。これは現在も陳腐化することなく、継続されていることが証明しております。さらに、この事業に共感された近隣のロータリークラブも多く、われわれの地区のほとんどのクラブが実施するようになりました。

職業奉仕とは何か、と考えると難しいことを想像しますが、ちょっとした発想でその思いが次代につながっていく職業奉仕事業の事例としてご紹介しました。

(第2560地区 新潟県)

自然体で おごりを捨てる

宿毛RC 田辺 健一

2000年12月入会 1959年9月16日生まれ



職業奉仕？ 私にとって永遠のテーマかもしれません。職業奉仕の理念は、己の職業を通じて地域社会に奉仕すること。言葉では理解できても、なかなか実践できないのが現実です。人は無意識のうちに自己中心的となり、奉仕の心をどこかに忘れ自己利益追求に奔走します。

しかし、われわれロータリアンには心の片隅に奉仕の心が存在しているのです。自由競争、格差社会の中で、自己生活保持のため、あらゆる戦略、戦術を図ることで、他社を、また、誰かを犠牲にしなければならないことが必ずあります。その行動が、ときには社会理念に相反し、奉仕の心から逸脱したという思いを痛感したのは、私だけでしょうか。

結論として、私の考える職業奉仕とは、悩んで難しく考えず、自然体で己のおごりを捨て、己を信じ、日々努力、日々感謝の気持ちで、少しでも地域社会に貢献することだと考えるようになりました。

永遠のテーマを求めて、宿毛ロータリークラブで出会えた、掛け替えのない仲間とともに、好意と友情を深め、精神修養を続けたいと思います。(第2670地区 高知県)

コンプライアンスの 実行

康沢北RC 荒井三和子

2002年6月入会 1942年3月6日生まれ



職業をもったロータリアンであれば、仕事を通じて日常的に良い製品をつくり、良いサービス、良い技術の提案などを心がけていることと思う。

しかし、世間を見渡すと、最近の商品ねつ造、賞味期限の改ざんなどの事件が後を絶たず、マスコミに取り上げられているのを見るとき、企業が利益追求に走りすぎ、「恥を知る」という日本の文化が消えてしまったのかと思える。

私は、ロータリアンの職業宣言の中にある「(前略)3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。4) 雇主、従業員、同僚、顧客、公衆、その他の事業または専門職務上、関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし」の個所に拍手を送りたい。

私の職業(社会保険労務士)からこの宣言を考えると、行政の総合労働相談コーナーに、平成19年度では

94万6,012件の相談件数がある現実である。労使双方に不幸なことだと感じている。

企業として労働時間が提起されれば、経営者がその解決に費やす時間と労力、精神的負担、経済的デメリットから鑑み、当たり前でシンプルなことだが、普段からコンプライアンス（法令遵守）を実行していることが企業の利益につながり、リスク回避になるし、私もそうアドバイスをしている。個人的には、中学校に出向き、「働く権利と義務」について話す業界のボランティア活動に参加し、ライフワークとしている。

（第2780地区 神奈川県）

「四つのテスト」を 行動規範に

川俣RC 佐久間博史

1991年4月入会 1950年9月13日生まれ



職業とは、本来、生活の資金を得るための手段であり、別の言い方をすれば、利潤追求の手段です。ただ、職業とは、それだけでなく個々の専門分野を通して社会に貢献し、社会生活が円滑に営まれるための行為で、そこにはおのずと責任と誇りが生まれてくるものと思います。

私は、ベッド数90床の病院の院長をしておりますが、病院には医師、看護師、検査技師、レントゲン技師、薬剤師、事務職員など多数の職種の人々が働いております。近年、医療事故、医療不信などが、マスコミで連日のように報道され、当院には「医療安全管理委員会」「感染対策委員会」など、15余りの委員会があります。

日々の診療で忙しい中、これらの委員会が開催されると大変なのですが、会議の出席率が悪いのは決まって医師です。医師が会議に出席しないと議論は進まず、種々の病院事業も進みません。もともと医師は組織への帰属意識がなく、一匹狼のようなところがあります。厳しい受験戦争を勝ち抜いてきた優秀なはずの人間ですが、どこか社会性に欠けているのです。

社会人としての基本的ルール、尊厳される職業人の行動規範として、ロータリーの掲げる職業奉仕の「四つのテスト」を、医師に限らず当院職員の行動規範にしたいと考えています。

（第2530地区 福島県）

矛盾の克服

富士宮西RC 貫名 英舜

1990年4月入会 1953年2月13日生まれ



ロータリーに入会して以来、職業奉仕とは何かを考えて続けている。残念ながら、その確実な解答をいまだ見い

だせない。しかし、それを常に問い続けているという行為自体に意義があるのではないかという思いがある。

われわれの産業社会は分業によって成り立っている。異なるものが互いに密接に結び合いながら一つの方向を目指している。その方向とは、言うまでもなく「豊かな社会」である。しかし、資本主義が人間の欲望、より端的に言えば、自己の幸福追求のために他者と競争するという闘争的心性を推進力にしている限り、しばしば他者とぶつかり合い、結果として敗者を生み出す。そして、社会の混乱や退廃という事態を生み出す。

ロータリーの創始者たちが発見したものは、20世紀の資本主義がもたらす煌びやかな光が、同時にその社会に陰を生み出すということであったのではないか。他者の犠牲の上にかなる豊かさを築き上げたとしても、真に「豊かな社会」とは言えない。むしろ、それはいつ崩壊するかもしれないという、不安定なものにすぎない。

この矛盾をいかに克服するか。つまり、自己の幸福追求が、いかにすれば他者におけるそれと衝突することがないか。この難解な命題を自らに問い続けるところに、ロータリーの「職業奉仕」のあるべき様態が見えてくるのではないかと思う。

すなわち、自己の職業が市民社会の中で、いかに「有益」であるのか、という視点を自らに置くということである。

（第2620地区 静岡県）

先人の言葉を 職業奉仕に生かしたい

仙台RC 小島 宣夫

2000年7月入会 1928年11月8日生まれ



あらゆる職業は、利用者・消費者の需要ニーズに応えることで成立している。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」。どうすれば相手の満足をもっと高められるか、さまざまな角度から考え、実行することが、事業の継続的成功への道である。

ただし、なんでも社会のニーズに応えればよいのではない。そこには職業人として守るべき倫理の基準が不可欠だ。江戸時代末期に、下野はじめ各地の藩政立て直しに功績を挙げた二宮尊徳翁は、「経済を伴わない道徳は戯言である。しかし道徳を伴わない経済は罪悪である」と喝破された。利益至上主義の跋扈する現在の経済を見たら、尊徳翁は深く慨嘆されることだろう。

作家司馬遼太郎は、小学生向け教材として書いた「二十一世紀に生きる君たちへ」の中で、「自分にきびしく相手にやさしく思いやりの心を身に付けよう」と説いた。今年度の国際ロータリーのテーマ「分かちあいの心」

も同じだ。

ロータリークラブには、職業奉仕を立派に実践して業績を伸ばしている仲間が大勢いる。クラブ内あるいはクラブ間での会員同士の交流を通じ、経済と知識を交換する機会を豊富に準備したい。例会でもフォーラムでも、あるいは職場訪問、IM（インターシティーミーティング）、あるいは地区のセミナーでも、交流の場をいろいろと工夫し、活用しようではないか。

（第2520地区 宮城県）

職業奉仕という 篩にかけられて

東京江東RC 犬塚 邦彦

1988年2月入会 1943年8月18日生まれ



ご多分にもれず、わがクラブの衰退も目を覆うありさまです。高齢化による退会は阻止できませんが、ロータリーのメリットを体感されないうちに退会されることが一番残念でなりません。私は入会を勧めるにあたり、職業奉仕については次のように説明しています。入会時は玉石混交だったロータリアンも、職業奉仕という篩ふるいにかけられ、残ったものが鍛えられて高い倫理観を身に付けるようになる、と。

しかし、本音のところでは一人でも多くの会員を増強するために、堅苦しい話は二の次にし、先輩会員からはお叱りしかを受けるかもしれませんが、仲間づくりを前面に出してお話しています。

在籍15年の間に、クラブが行ってきたプログラムは①講師を呼ぶ、②企業訪問をする、③会員同士の商取引を推奨する、④クラブ外の友人に会員を紹介する、などでありました。

会員個人の責務としての職業奉仕を、純粹にクラブにあって啓もうすることの難しさを先輩会員は身にしみて感じているのかもしれませんが。職業倫理の欠如からなる不祥事報道が「身から出た錆さび」となっていることも事実ととらえ、より一層の内と外への啓もうに努めたいと思います。

（第2580地区 東京都）

地区協議会に 参加して

東金ビューRC 関口 昌秀

2000年1月入会 1958年10月7日生まれ



私は、本年度クラブ職業奉仕委員長を務めるに当たって、4月24日に開催された地区職業奉仕委員会の研修に参加させていただきました。平山金吾パストガバナー（PG）は講演で「職業とは神仏の働きを具現化したも

ので、駕籠かごに乗る人、担ぐ人、その人のぞうりを作る人、なくてはならない人、いろいろな関係、要素から成り立つ」と言われ、感銘を受けました。

平山PGは、仏教、儒教の教えを盛り込まれ、人間の心のあり方にまで掘り下げ、講演されました。私などは、目先のことにとらわれ、周りのことなどお構いなしに、自分の都合で物事を見て解釈し、欲望に流され、煩惱ぼんのうの海に漂う状態です。仏教にある縁起法の釈尊の尊い教えは、現代の時代に大変必要なことだと思います。

われわれロータリアンができることは、個人としてのおのおのが職業を通じて世間とかかわるときに、自分の心を内観し、心の拠り所よきところ、アイデンティティーを仏法や儒教などに求め、正しい価値観、概念を確立し、道理を思考し、本質を見極め、良いご縁として業として心の底に蓄積し、良い種子として世間に行動として、現象として、現すことが大切だと思いました。

ロータリーだからこそ、大変、貴重な講演を拝聴させていただけたと思います。

（第2790地区 千葉県）

天職として

越谷南RC 中尾 紘

1984年7月入会 1944年1月3日生まれ



職業奉仕とは、英語では Vocational Service といいますが。どうして、occupation や profession が使われないのか。これについて、vocation の語源にさかのぼってみますと、vocation とはラテン語 vocare から発生した言語で「呼びかける」ということです。ヨーロッパの文化では、呼ぶものは神様になります。つまり、職業は神に呼ばれて就いているものです。

日本では「天職」に当たります。自分の与えられていることが天職です。少し違うかもしれませんが、商売は「あきない」といわれ、自分が一生続けていくものだと いわれてきました。それを職業として続けることにより、地域社会に奉仕するものなのです。

このように、自分に与えられたことが天職として向上奉仕していくことが、自然に周囲の地域社会の発展につながるということです。それがさらに世界平和に結びついていくと思います。以上のことを、ロータリーの概念として簡単に言い表しているのが「職業奉仕」 Vocational Service です。

今後も、ロータリークラブの会員の皆さんご自身が、自分の職業を一生懸命がんばることにより、地域社会に奉仕し、最終的には世界平和につながることを思います。

（第2770地区 埼玉県）

タイで学んだ 職業奉仕の心

西尾RC 筒井 兼之

1992年8月入会 1941年2月17日生まれ



2003年7月7日に、タイ・バンコクのトンブリロータリークラブ（RC）を訪問し、その年の6月まで国際ロータリー会長をされていたビチャイ・ラタクル氏と話をする機会に恵まれました。

その日は職業奉仕に関する卓話で、王宮の庭園を管理する人のスピーチでした。内容は、「われわれは国王を心から敬愛しています。その国王と王宮を訪れるすべての人に満足してもらえるように真心を込めて作業をしています。中でも、できるだけ自然環境を破壊することのないように除草剤もほとんど使用していません。日本の昭和天皇が「雑草という草はない」と言われましたが、この言葉は私共の頭に強く残っています。見学者が「美しい庭園だ」と話しているのを聞くと、本当にうれしいものです。そして、この庭園を維持、管理できるのはわれわれしかいないと、毎日誇りをもって仕事をしています」

おおむねこのようなスピーチだったと思いましたが、大変感動しました。スピーチの後、ラタクル氏と話す中で、次のように述べられました。「職業奉仕の心は今日のスピーチで十分でしょう。そして、業界の代表であるわれわれが会員以外の人に職業奉仕の心を説明し実践してもらうことが使命です。その努力が、現在不足しているのではないだろうか」。

職業奉仕が少しわかったような気がした一日でした。

（第2760地区 愛知県）

地方の歴史と 文化を織り込んで

常陸太田RC 高和 剛

2000年1月入会 1942年5月2日生まれ



私は、「小さなしょうゆ屋」として、大きな理想を掲げ、職業奉仕を実践しております。効率的な大量生産販売方式の大手醤油業者に対し、地方の歴史と文化をパッケージに織り込み、品質も本格志向、オンリーワン企業を目指して経営してきました。

あるとき、書道講師を招き、社内の書道教室を始めたのが動機でした。新製品の銘柄を直筆で、ラベルのデザインに生かしてみました。書道の研鑽の結果、その墨の香りが人を和ます効果があり、当社の醤油こそ、その香りには、同じような効果があるとわかったのです。

日本人は古くから他国の文化を輸入、この国の文化の花を咲かせてきました。ふるさとの心を奏でるベートーベンの「田園」、ドボルザークの「新世界」、スメタナの「モルダウ」は代表的。それに対し、日本のふるさとを歌うのは、味噌と醤油。郷愁からふるさとを思い、懐かしさがリラックスへ、そして心に安心、伝統文化が奏でる健康メッセージを信じるようになります。その文化を世界に発信するとき、その媒介にロータリーがあると。

以上のような小さな発見から、大きな夢の実現に、還暦を過ぎた若者の目を輝かせたい。文化輸入国を、文化輸出国に。癒やしの文化を代表して、世界に醤油を、書道を、と発信していきたい。それが私の職業奉仕です。

（第2820地区 茨城県）

「職業奉仕」について

伊那RC 平出 吉範

2007年1月入会 1957年12月24日生まれ



ロータリアンになられた方は、その職業分類において、その社会で認められた人が多いことと思います。しかし、ロータリアンになったことで一定の社会的ステータスを得て、それに満足してしまっている方もいるのではないのでしょうか。最近のロータリークラブに対しての一般の評価があまり芳しくないものが多いことは、誠に残念であります。やれ贈賄容疑で検挙された会社の会長や不正表示で摘発された会社の社長がロータリアンだとか、2ちゃんねるなど、ちまたの掲示板でバッシングを受ける回数も多くなっています。

ロータリアンになるのは目的ではなく、自分の職業を見直して社会に貢献するスタートラインでなければなりません。すなわち、ロータリアンになって何をしたか？ が評価されるべき事柄でありましょう。最も実践しやすく同時に難しいのも、自分の職業に対するものかもしれません。しかし、慈善事業や募金活動以上に基本的なロータリーの活動は、自らが実践することではないのでしょうか。自らの職業は社会の中で生かされ、地域に貢献することによって育っていく喜びを、謙虚に受け止めていこうではありませんか。（第2600地区 長野県）

小中学校の 出前課外授業

豊中RC 澤木 政光

1993年5月入会 1933年3月13日生まれ



当クラブでは、2001 - 02年度から、青少年奉仕活動の一つとして、豊中市内の小中学校を対象に、会員の

有する豊富な専門的知識をわかりやすく提供する出前課外授業に取り組んでいます。

市教育委員会のご協力を得て、小学校全41校、中学校全18校に対し、会員の用意するいろいろな課外授業のテーマをあらかじめお知らせしておき、後日、課外授業要望校と担当会員が、日時、その他を相談して実施に移すという手順をとっています。小学校は高学年、中学校は1～2年生が対象です。

内科医である私は「人間はなぜ眠らなければならないのか」のテーマでこのプロジェクトに参加し、睡眠の大切さを話し聞かせています。ゴムの特性に関する面白科学実験や華道、能楽など、クラブ会員の提供する授業は、子どもたちのさらなる知識欲をかき立て、芸術を理解し、深く感動する体験を呼び覚まさせます。後日、届けられる子どもたちの感想文には、普通の教科書中心の勉強からは得られない新鮮な刺激や驚きとともに、学ぶことの大切さを再認識した様子などが綴られています。

この時期の子どもたちは自己形成の最も重要な段階で、私たちとの出会いは彼らの夢と希望を膨らませる機会となり、地域の教育力の回復にもつながるものと思います。

自己の職業に誇りをもち、実践することと高い人間性に徹することが職業奉仕であり、出前課外授業への出務はその一つであると考えております。

(第2660地区 大阪府)

利益を還元

横浜戸塚RC 須田 公之

1990年8月入会 1943年4月23日生まれ



職業奉仕とは、自分の職業に誇りをもつことだと思う。そして、自分の住んでいる地域に貢献することだと思う。自分の築いた会社なり、お店なりは、その地域社会の中で発展し、繁栄したものだから、周囲の皆さまに還元して初めて認められるものである。

その関係を忘れて営利だけを追求しても、いつかは見捨てられる。利益は必ず還元しなければ、職業上の発展はない。ロータリアンは常にこのことを肝に銘じて活動すればよいと思う。

一業種一人が誇りをもって一生懸命、職業奉仕をすれば、会員の数だけ社会に貢献し、それが何倍にもなって地域社会に繁栄を及ぼすはずである。活性化のある地域は、一人ひとりが自分の職業を自覚して丸となって活動している。それが自然と肌伝わってくる。

会員の退会理由の一つに、クラブへの失望感があると

思う。入会して希望や魅力のないクラブは組織としての活力を失い、例会も貴重な時間の浪費で終わり、遂には、嫌気と失望で欠席してしまう。

精神的な嫌悪感は、何よりも行動を抑制する。会長は楽しく有益な1時間をいかにつくるかを命題にして、理事役員と懸命に試行錯誤すべきである。ロータリーが組織集団である以上、退会する人が出たら、弱体化し活力が失われ、バラバラとなり、職業奉仕も一個人として自分だけの奉仕で終わってしまう。大きく集団化した組織こそ、最大の奉仕集団なのだから。

(第2590地区 神奈川県)

1905年

唐津東RC 宮島傳二郎

1972年1月入会 1930年1月16日生まれ



1905年2月23日、ロータリーの創始者ポール・ハリスは、3人の友を誘い、夕食を共にしながら、ロータリーの灯をともし。以来100年、「職業を通じての職業奉仕」は、数多くのロータリアンに共感を呼び、ロータリー活動の精神的基盤を形成していく。

この年、第一次ロシア革命勃発、日露戦争終結など、資本主義の矛盾が表面化する。その中であって、マックス・ウェーバーは、名著『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を発表し次のように説く。「プロテスタントの儉約と勤勉を旨とする禁欲的な生活から生まれる倫理的雰囲気(エートス)が、資本主義精神である」と。1905年には、敬虔なピューリタンの祖父に育てられたポール・ハリスのロータリークラブ誕生と、マックス・ウェーバーの『資本主義の精神』の発表が重なる。

わが国なら、近江商人が思い浮かぶ。浄土真宗の信徒である彼らは、朝な夕なの合掌・念仏、阿弥陀仏への絶対的帰依、生活は質素、勤勉、しかも周囲には感謝の念を忘れない。その職業観は、明治以降にも引き継がれる。

「去華就実」は、わが宮島醤油の社訓である。華を去り実に就く、外見の虚飾より、内面の充実を、今日も「去華就実」を胸に家業に励む。(第2740地区 佐賀県)

蚊取り線香に 魅せられし50年

三田南RC 島村 敏夫

1999年2月入会 1931年12月11日生まれ



「血を分けし身とは思わず蚊の憎さ 丈草」

数百年もの昔からある、蚊のような飛翔昆虫の防除に燻煙くんえんという立体的手法を用いた防除方法は、科学万能の

今日からみても有効な手段で、高温多湿な日本の夏が生んだ生活の知恵といえる。長く日本の夏の風物詩だった、蚊遣り火と仏壇線香の技法がつながり蚊取り線香が生まれ、始祖山上英一郎（1862 - 1943）氏 노력により、明治初期欧米から伝来の除虫菊の栽培を皮切りに、日本のオリジナル商品としての地歩を固めた。一本の蚊取り線香とはいえ、日本民族の歴史と叡智が秘められている。多くの人々を蚊の媒介するマラリアをはじめ、数々の感染症から救ったその心根は、職業奉仕そのものの精神に通じるものがある。

蚊との闘いの歴史は、日本の文学史上多くの詩歌、随筆、浮世絵に描写され、今や一商品の発達史の域を脱して日本の大衆文化として根付いており、人口に膾炙するといっても過言ではない。蚊取り線香の企業に入社して40年有余、自分に与えられた仕事に情熱がわき、やがて仕事が趣味となり、害虫との闘いの歴史を追い続けている。退職後、自費を投じて開設した「さんだ蚊遣史料館」も、『知っておきたい個性派ミュージアム：兵庫県版』（企画センター、2006年）に紹介され、害虫防除に明け暮れる定年ゼロの日々が続いている。

西ナイル熱や地球温暖化による蚊の感染症が危惧されている21世紀、蚊取線香のロマンとビジョンを追い続けることが、私の職業奉仕でもある。

（第2680地区 兵庫県）

職業倫理の高揚

東京新橋RC 金澤 洋

1995年10月入会 1940年6月6日生まれ



「職業奉仕はロータリーの金看板である」「職業奉仕がわからないうちは本当のロータリアンではない」と入会以来よく聞かされてきた。その一方では「難しい」、「わかりにくい」といわれるのが職業奉仕である。一般に「職業奉仕とは自分の職業を通じて社会に奉仕すること」と定義される。この定義がすでに抽象的でわかりにくい。

ところが、さる7月27日、第2750地区の情報委員長セミナーに出席、第2680地区田中毅パストガバナー（PG）の「二つの奉仕理念」という講演を聞かせていただいて、急に目の前が開けたのである。

田中PGは、アーサー・フレデリック・シュルドン研究の第一人者で、彼が提唱した He Profits Most Who Serves Best. を原点から非常にわかりやすく説明してくださった。職業奉仕は、この短い英文の示す通り、最高のサービスを提供するものが最高の利益を得られるという実利的なものであり、実利を得る受益者はロータリア

ン自身であること。職業奉仕を実践すると結果として職業倫理が高揚すること。その結果がその業界全体の発展にもつながっていくということ。

これが職業奉仕についての今の私の理解である。このように理解すれば、職業奉仕は決して難しいことではない。この理解をクラブの会員全員に共有してもらうこと、これこそがクラブの情報委員長としての私の今年度の最大の役割と考えている。 （第2750地区 東京都）

「まつり」を奉仕する

稚内RC 渡井 民元

1997年12月入会 1948年1月28日生まれ



私は、職業分類上、特殊な領域に入ると思われるので、このたびこの原稿を書くに当たって、一瞬躊躇した。しかし、本年度の職業奉仕委員長を引き受けた以上、このような偶然の巡り合わせにも勇気を奮い起こさなければと、自問自答してみた。

神職である私の日常は、一言で申せば、神明奉仕の毎日である。「まつり」を奉仕することによって、生活を成り立たせていただいている。ではなぜこの世の中に「まつり」と称する社会的な営みが存在するのであろうか。それは人間社会の中に、楽しさや喜びや明るさを繰り返し広げるからであろう。そのことを「ハレ」と言う。

現在、全国神社の本宗である伊勢神宮では、2013年に斎行される第62回式年遷宮の諸準備が始動している。神社の建て替え、橋、鳥居など建築物一切はもちろんのこと、殿内に納める御神宝の数々に至るまですべて新しく作り替える。まさに、壮大なスケールのまつりであることから、民族のよみがえり行事と言われる。

なぜ、これほどまでの大行事が1300年間も継続されてきたのか。それは、神々が人間に与えたもうた偉大な試練にほかならない。すなわち、「苦しみを楽しみに、悲しみを喜びに置き換えよ。暗黒の世界から、光明の世界を創り出せ」というメッセージを込めた言葉とともに。

「まつり」の斎行は、人間社会のトランス装置といえないだろうか。 （第2500地区 北海道）

Annotation

He Profits Most Who Serves Best

国際ロータリー第二の公式標語 He Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) は、2004年規定審議会で修正が加えられ、「He」が「They」に置き換えられました。(『手続要覧2004年』P155「ロータリーの標語」参照)